

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
 SECカーボン株式会社 京都工場 新AGF工場建設設計画(工場棟)

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.8	
Q1 室内環境									
1 音環境				-	-				
1.1 室内騒音レベル				-	-				
1.2 遮音				-	-				
1 開口部遮音性能				-	-				
2 界壁遮音性能				-	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-				
1.3 吸音				-	-				
2 温熱環境				-	-				
2.1 室温制御				-	-				
1 室温				-	-				
2 外皮性能				-	-				
3 ゾーン別制御性				-	-				
2.2 湿度制御				-	-				
2.3 空調方式				-	-				
3 光・視環境				-	-				
3.1 昼光利用				-	-				
1 昼光率				-	-				
2 方位別開口				-	-				
3 昼光利用設備				-	-				
3.2 グレア対策				-	-				
1 昼光制御				-	-				
3.3 照度				-	-				
3.4 照明制御				-	-				
4 空気質環境				-	-				
4.1 発生源対策				-	-				
1 化学汚染物質				-	-				
4.2 換気				-	-				
1 換気量				-	-				
2 自然換気性能				-	-				
3 取り入れ外気への配慮				-	-				
4.3 運用管理				-	-				
1 CO ₂ の監視				-	-				
2 喫煙の制御				-	-				
Q2 サービス性能				-	0.43			3.7	
1 機能性				-	-				
1.1 機能性・使いやすさ				-	-				
1 広さ・収納性				-	-				
2 高度情報通信設備対応				-	-				
3 バリアフリー計画				-	-				
1.2 心理性・快適性				-	-				
1 広さ感・景観				-	-				
2 リフレッシュスペース				-	-				
3 内装計画				-	-				
1.3 維持管理				-	-				
1 維持管理に配慮した設計				-	-				
2 維持管理用機能の確保				-	-				
2 耐用性・信頼性				3.2	0.50			3.2	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.8	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		角波鋼板サイディング:30年以上		5.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要用途上位3種のうち2種以上にB以上を使用、Eは不使用		5.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20				
2.4 信頼性				2.8	0.20				
1 空調・換気設備				3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20				
3 電気設備				3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20				
5 通信・情報設備				2.0	0.20				

3	対応性・更新性		4.2	0.50	-	4.2
	3.1 空間のゆとり		5.0	0.30	-	
	1 階高のゆとり	工場階高:3.9m以上	5.0	0.60	-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.0615	5.0	0.40	-	
	3.2 荷重のゆとり	積載荷重:14800N/m ²	5.0	0.30	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.57	-	2.2
1	生物環境の保全と創出	-	1.0	0.30	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	3.7
LR1	エネルギー		-	0.40	-	4.2
1	建物外皮の熱負荷抑制	-	-	-	-	-
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.13	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI=0.38	5.0	0.63	-	5.0
4	効率的運用		3.0	0.25	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	3.4
1	水資源保護		3.4	0.20	-	3.4
	1.1 節水	省水型便器、自動水栓の採用	4.0	0.40	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.2	0.60	-	3.2
	2.1 材料使用量の削減	-	3.0	0.11	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.22	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	解体時の分別が容易なLGS工法を採用	4.0	0.22	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		4.0	0.20	-	4.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	有害物質を含まない防水プライマーの採用	4.0	0.30	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	吹付硬質ウレタンフォームA種	5.0	0.50	-	
	3 冷媒	-	3.0	0.50	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	3.5
1	地球温暖化への配慮	LCCO2排出率76%	3.9	0.33	-	3.9
2	地域環境への配慮		3.5	0.33	-	3.5
	2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用しておらず、大気汚染物質を全く発生しない。	5.0	0.25	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	
	3 交通負荷抑制	-	3.0	0.25	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	
	1 騒音	-	3.0	0.33	-	
	2 振動	-	3.0	0.33	-	
	3 悪臭	-	3.0	0.33	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	
	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	
	3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策チェックリスト過半に該当し、広告物照明の設置無し	5.0	0.70	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	2.0	-	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	-	-	1.0	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	4.0	-	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	9.0	-	1.0	-	3.0	3.0	-	-	-	2.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0	-	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0	-	1.0	1.0	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	2.0	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	4.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m ² K)	窓システム	屋根	外壁
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	ηAC
屋光率	0.0%	ηAH	-

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

自然換気有効開口面積率 0.0%

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース .0m²/人 病床 .0m²/床 シングル .0m² ツイン .0m²

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量 0.0 VA/m²

1.2.1 広さ感・景観

天井高 0 m

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース 0.0% レストスペース 0.0%

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数 0 年

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔 40 年

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔 0 年

2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔 0 年

3.1.1 階高のゆとり

階高 6.1 m

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率 6.2%

3.2 荷重のゆとり

床荷重 14800 N/m²

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数 8% 建物緑化指数 0%

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率 65% 水平投影面積率 0% 地表面対策面積率 5% 舗装面積率 59%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI_m 断熱等性能等級 0 相当

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年m² 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0%

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI_m 非住宅 0.38 住宅 - 太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率 0.0%

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率 0.0%

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 1

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 8

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比 9% 隣棟間隔指標Rw 0.40
 地表面対策面積率 5.0% 屋根面対策面積率 #DIV/0! 外壁面対策面積率 #DIV/0!
 見付面積Sb 1,104m² 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 137.4 m 基準高さHb 91.33 m
 緑地 1,700m² 水面 m² 保水性対策面 m² 高反射対策面 m² 再帰性反射対策面 m²